



交差点に開いたオープンテラスとエントランス アルミ折半の手すりが太陽の光を受けて立体的な菱文様を映し出している



行灯壁と畳ベンチで構成する「縁側」



交差点に開いたファサード



駅側ファサード夜景



天然木を使用したエントランスホール

PROUD FLAT 宮崎台

竣工年: 2018
 所在地: 神奈川県川崎市宮前区宮崎 2-8
 用途: 共同住宅 (賃貸)
 敷地面積: 635.33 m²
 建築面積: 403.71 m²
 延床面積: 2,545.92 m²
 構造: RC造
 規模: 地上 8階

敷地は東急田園都市線宮崎台駅に並走する高架橋と幹線道路が交差する角地に位置し、周辺住民が行き来する交差点でもあることから、この敷地を「街の結束点」と捉え交差点角地のデザインをおこなった。交差点の角に街との繋がりを意識したエントランスとオープンなデッキテラスを設け、緩やかな曲線を描く庇で覆われた空間はパブリックとプライベートの間の曖昧な中間領域として、人と街をつなぐ「縁側」と位置付けている。また、エレベーターをエントランスから離れた位置に配置することで生まれるアプローチ空間が、入居者同士をつなぐ「縁側」となることを意図して、日本的障子を用いた行灯壁や畳のベンチを設けている。外観を構成する重要な要素となるバルコニー手摺は、現代的素材であるアルミパネルを「折り紙」のように折り曲げ、日本の伝統文様である「菱文様」を現代的に表現した。折板が生み出す凸凹は光を受けて刻々と表情を変え「街の結束点」にふさわしいファサードとなっている。